

大池の家

所在地 南区大池2丁目17番22号
 所有者 株式会社タカミ
 設計者 渡辺武彦建築設計事務所
 施工者 株式会社佐藤組福岡支社
 関係者 環境デザインMiyuni企画（造園設計）
 用途 専用住宅

風致地区に位置するこの家は、コンクリートと金属とガラスのシャープな建物を、限りなく自然に近い環境をめざした造園が包み込み、周辺に美しい景観を提供している。



A部門
 小さな建物

1996年度受賞作品

福岡市都市景観賞10年の歩み

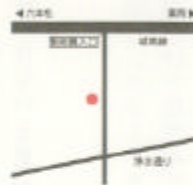
LANDSCAPE FUKUOKA
 21世紀・福岡の都市景観



福岡雙葉小学校附属幼稚園

所在地 中央区御所谷1番地
 所有者 学校法人福岡雙葉学園
 設計者 株式会社日建設計
 施工者 株式会社竹中工務店九州支店
 用途 幼稚園

子どものスケールに見合ったこの幼稚園は、チャーミングで微笑ましい表情をもち、周辺の豊かな緑に囲まれた環境とも一体となって、落ちついた品位ある風景を創り出している。



権威ある景観賞

はじめに、これまでの10年間に福岡市都市景観賞を受賞された皆さんに心からお祝いを申しあげたい。福岡を代表する建築物が受賞した第1回から回を重ねて、それなりの権威ある賞となった。

快適な都市景観をつくるためには、建築や屋外広告物などの法的な制度の確立や、それらの事業に従事している人々の社会教育の充実が考えられる。表彰制度も有効な方法のひとつである。すぐれた景観づくりに寄与したものを表彰して、担当者の努力を称えるとともに、広く公表してこれからの目標のひとつにしていただこうというものである。

受賞対象は、多くの人が賞にふさわしいと認めるものでなければならぬ。賞には、ほんの少しうれいしものから際立って榮譽とするものまでさまざまなものがあるが、福岡市都市景観賞はその中でも難関の部類に属する。景観賞がはじまってからのこの10年は、ことさらすぐれた企画や建築が相次ぎ、全国的な観点からいってもきわめて高いレベルのものしか受賞できなかった。市民から推薦を受けたものしか審査対象にならないことも、その価値を増している。

権威の点では申し分なく育ってきた景観賞

九州芸術工科大学助教授 佐藤優



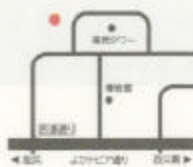
佐藤 優（よしひろ・まさる）
 1960年生まれ。福岡市生まれ。
 多摩美術大学大学院修士課程美術
 学術科修了。
 九州芸術工科大学助手、文部省
 在外研究員（ツリーヘン工科大学、
 エフセン大学）などを経て、1988
 年より九州芸術工科大学美術学
 部学芸科助教授。
 専門は、建築記号/サイン/コミュニ
 ニケーションデザイン。

B部門
大きな建物
や工作物

ネクサス百道レジデンスタワー

所在地 早良区百道浜4丁目31番1号
所有者 ネクサス百道レジデンスタワー管理組合
設計者 前田建設工業株式会社
MICHAEL GRAVES ARCHITECT
施工者 前田建設工業株式会社
関係者 福岡地所株式会社(企画)
用途 共同住宅、店舗

特徴的な色彩、タワー建築としての見事なプロポーションとボリューム感により、シーサイドももちのなかでひととき異彩を放つ、都市景観の個性的なランドマークである。



公平な審査

だが、最近では市民と遊離しているのではないかと、批判も聞かれる。一部の建築家だけの賞になっていくというのである。ハードルを低くすれば表彰制度の意味が失われ、難しくすれば市民から遠ざかる。その中で福岡市都市景観賞は、誇らしく思える賞になることを選択してきた。受賞作品を並べてみると、まさに圧巻である。

10年の間にいくつかの選択肢があった。市民の推薦が多いものは受賞させるべきではないか。若手建築家などの努力を評価すべきではないか。市民生活で親しまれているものも好ましい景観と言えるのではないか。そうした疑問が投げかけられるたびに熱心に討議された。結論からいって審査委員会は、景観に対する主張性のあるもの、デザイン的にもすぐれているものを評価する立場をとってきた。景観賞は功労賞でも人気投票でもなく、これからの景観をリードするひとつの基準になることを期待しているからである。努力したがやはり問題があるもの、市民には受け入れられても表現の方向として好ましいと思えないものは、賞の対象にしなかった。それはひとつの見識ではないかと思う。また、福岡市都市景観賞は、審査委員の資質にも恵まれて、企業や作家への配慮や、よくありがちなバランス論に傾くことなく、ピュアな審査をしてきた。それも価値のある賞になってきた一因であり、誇りに思っている点である。

大小の景観要素

しかしその反面で、専門的な賞になりつつあることも事実で、市民にとって身近なも

ベイサイドプレイス博多埠頭
(博多区築港本町)





キャナルシティ博多

所在地 博多区住吉1丁目2番1号ほか
所有者 福岡地所株式会社
設計者 THE JERDE PARTNERSHIP Inc.
施工者 キャナルシティ博多建設共同企業体
(株式会社益高組、清水建設株式会社、株式会社大林組、
株式会社フジタほか)
関係者 エフ・ジェイ都市開発株式会社(企画)
用途 ホテル、店舗、劇場、映画館、事務所ほか

視覚と触覚を刺激する強い配色と、運河を核とした空間構成が印象的で、大胆かつ繊細な表現の背景には設計者の凝視の重みも感じられる。今後も感動的な「街」であり続けることを期待したい。

のにする工夫が必要だ。第2回から大小の規模で部門を分けて、かならずしもビッグプロジェクトや費用をかけたものを良しとしない気運があった。発足直後に受賞した浄水通りの「マージ・オーキッド」は、その姿勢を示す好例だった。同じく第1回で受賞した「レイクタウン屋形原」も印象的で、今でこそ珍しくもない公園風の住環境整備だが、住民が自主的に緑化協定を結んで注目された。

その後、部門設定には苦勞し、言い表し方を含めて4度の変更を経ている。新たに加えた部門は、第8回からの街角のアクセントの部門と、第5回からのすぐれた景観を創造する行為に与えられる特別表彰である。街角のアクセント部門は、屋外広告物やストリートファニチュアなど、景観を構成している要素の幅を広げることを意図して新設された。1994年度に福岡ダイヤモンドビルの回転する彫刻が受賞したものの、そのほかは芳ばしくなく先行きが危ぶまれたが、1995年度に「あいれふ」前の「キース・ヘリングの彫刻」や天神岩田屋地下入口の「天神かっぱの泉」が受賞し、景観賞のイメージを広げた。1996年度は博多港引揚記念碑「那の津往還」、「向波容」、「西新1号緑地ほか3緑地」など、一気に3件が受賞した。

活動も賞の対象に

特別表彰は1991年度、第5回記念を期してはじめられた。建物や工作物だけでなく、すぐれた景観を維持したり、市民が自主的に景観美化に努めるなどの努力も評価すべきだとの趣旨による。それに最もふさわしいものとして、第5回の「天神地下街の景観演出活動」や、第8回の「FUKUOKA STYLE」が特格的である。第7回の「ミュージアム・シ



マージ・オーキッド
(中央区浄水通り)



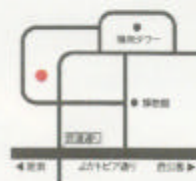
レイクタウン屋形原
(南区岩田)



百道浜4丁目戸建住宅地区

所在地 早良区百道浜4丁目
 所有者 百道浜4丁目戸建地区町内会
 企画者 積水ハウス株式会社
 宮脇 楳
 福岡市住宅供給公社

まちづくりの各段階で先駆的な取り組みがおこなわれたモデル事例であり、美しい御影石の石積みと豊かな緑で構成されたまち並みは、地域の人々の努力により次第に気品と風格を増していくに違いない。



楽水園

所在地 博多区住吉2丁目10番7号
 所有者 福岡市
 設計者 日比生設計株式会社 (建築)
 株式会社環ヴィトゥム (造園)
 施工者 株式会社池田正工務店 (建築)
 株式会社藤吉園芸場 (造園)
 東洋緑地建設株式会社 (造園)

外周に博多環を大層に使い、地域のまち並み景観に大きく寄与しているとともに、内と外の空間のつながりと広がりがある。また、茶というものを共通用語とした建築とランドスケープの一体感もいい。



議論が絶えない景観賞

「テイ・プロジェクト」の受賞も、景観賞の充実を物語る。同企画が、2年に一度まちの中に芸術作品の展示をはじめ6年になる。最近、立川や新宿アイランドのパブリックアートが話題になっているが、常設作品の設置も必要だが、期間を限定した展示も都市を活性化させている。また、目に見えない努力として大型広告物の撤去が評価されたこともあり、今後は都市景観の問題として屋外広告物の好ましい在り方も検討される必要があるだろう。

これまでの審査で、いくつかの悩みもあった。個人住宅の評価をどうするかも、そのひとつである。まち並みや集合住宅が受賞しても、個人住宅の受賞はなかった。建築がすぐれていても景観賞に相当するかどうかの意見が分かれ、相対的な評価がしにくいことも評価をためらわせていた。それが10年目になってやっと受賞作がでた。「大池の家」は、期が熟し、建築と造園が見事に調和した格好の作品だった。今後の刺激になることを期待したい。

また、公共事業を賞の対象からはずすべきかどうか、いつも話題になる。市が主催している賞で市がつくったものが表彰されるのはおかしい、ということ、選考からはずしている例もある。しかし、審査委員会では次の観点から選考対象にしている。市民にとって公共も民間も景観を構成している要素として同等である。特に公共は、事業規模や面的にも広い範囲の事業をおこなっており、責任が重い。厳しく審査することによって、景観向上への努力を促すべきである。また、公共事業であっても設計施工等を民間がおこなっている場合に、その関係者の功績を表彰すべ



キース・ファン・ドンゲン彫刻
 (中央区豊洲)

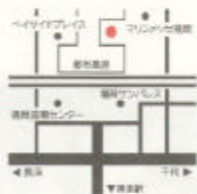


西新1号緑地ほか3緑地

所在地 早良区西新6丁目、百道1丁目、
百道浜4丁目、百道浜1丁目
所有者 福岡市
設計者 株式会社ジーエー・タップ
施工者 太陽緑化建設株式会社
木下緑化建設株式会社



海と太陽、入り江、浜、磯と続く4つのポケットパークは、シーサイドももちという新しいまちに、「海」というこのまちの歴史の表情をもった街角物語を創り出している。



博多港引揚記念碑「那の津往還」

所在地 博多区石城町567の地内
所有者 福岡市
作者 豊福知徳
関係者 株式会社松下美紀照明設計事務所
(照明設計)

この記念碑は、長い歴史をもつ博多港の、現代史における最も記念すべき意味合いをもち、夜のライトアップの効果とあわせて、海からの港景観にエゴックを与えている。



彫刻「向波容」

所在地 早良区百道浜2丁目3番8号
所有者 アール・ケー・ビー毎日放送株式会社
作者 清水九兵衛

シーサイドももちの近代的で洗練された空間のなかで、彩やかな真紅の力強いフォルムが印象的である。量感豊かなたまりでありながら、内側に空気を含んでいるような透明感がある。



1994年度から、市民との関係をより近くするために、応募方法を簡略化して、写真を添えなくてもよくした。また、「わたしのまちの景観賞」というキャッチフレーズもつく

より身近な景観賞へ

きである。市が主催しているとはいっても、審査委員会はすでに独自の判断をもっており、すべてを公平に客観的に評価している。自然景観は景観賞の対象にはならないのか、という疑問もある。推薦件数の増加にともない、身のまわりの風景の推薦が増えた。審査委員会では、人間が計画設計したものを対象とし、あるがままの自然は審査対象としていない。ただし、人為的に守り育てた結果が自然景観となっているものは、今後評価されるのではないかと。1991・93年度に各区が中心になって福岡アメニティ百選が選考されたが、景観賞とのかかわりで何か積極的に活かす方法がないだろうか。自然との接点は重要な課題として考えていきたい。

このほか、建築関係の賞とはどこが違うのか、という根本的な問いかけがある。私は審査委員のひとりとして、景観賞は、オーナーや設計者側からの評価ではなく、見る側や利用する側からの評価である、と思っっている。都市は人が活動してはじめて成り立っているもので、いわば、ソフト面からの視点が重要である。1996年度の「キャナルシティ博多」の受賞は、その典型的な例である。一方、表現の方法が審査委員の共感を得ずに、市民から多数の推薦をもらいながら受賞を見送られた例もある。福岡市にとって何が好ましい方向かは誰も断定できないに違いないが、景観賞は現在の審査委員会の考え方を反映している。



「博多百年蔵」石蔵酒造

所在地 博多区笠粕1丁目30番1号
所有者 石蔵酒造株式会社

明治時代の造り酒屋の建築を現代に残し、さらに内部を一般公開することでその文化を伝えるとともに、地域文化を育てる空間としての可能性も含めて評価された。



特別表彰

都市景観賞審査委員会委員 (50音順敬称略)

- 岡 道也 (九州芸術工科大学助教授)
- 河地洋子 (香典女子短期大学教授)
- 佐藤 優 (九州芸術工科大学助教授)
- 竹下輝和 (九州大学教授)
- 田崎順二 (社団法人日本造園コンサルタント協会九州支部長)
- 中村新一 (委員長・九州産業大学教授)
- 藤澤隆吉 (福岡市都市整備局長)
- 山本 憲 (西日本新聞社編集企画委員長)
- 山本智子 (弁護士)

博多灯明ウオッチング

主催者 博多部まちづくり協議会

縦横の明かりをとおして、まちの魅力を別の方向から探り出そうとする試みは、都市景観を多面的に捉えるうえで有意義であり、地域主体のまちづくりへと運動させていることも評価された。

(写真は博多区東長屋町の豊国神社)



- ・まちづくりなれにおいて、都市景観形成への配慮や努力がおこなわれた企業や行方
- ・景観意識の普及活動や都市景観形成につながる地域活動・イベント開催などの企画や行方
- ・その他、都市空間の創造、演出につながる企画や行方

特別表彰

- ・まちづくりなれにおいて、都市景観形成への配慮や努力がおこなわれた企業や行方
- ・景観意識の普及活動や都市景観形成につながる地域活動・イベント開催などの企画や行方
- ・その他、都市空間の創造、演出につながる企画や行方

・まちづくりなれにおいて、都市景観形成への配慮や努力がおこなわれた企業や行方

・景観意識の普及活動や都市景観形成につながる地域活動・イベント開催などの企画や行方

・その他、都市空間の創造、演出につながる企画や行方

・まちづくりなれにおいて、都市景観形成への配慮や努力がおこなわれた企業や行方

・景観意識の普及活動や都市景観形成につながる地域活動・イベント開催などの企画や行方

・その他、都市空間の創造、演出につながる企画や行方

・まちづくりなれにおいて、都市景観形成への配慮や努力がおこなわれた企業や行方

・景観意識の普及活動や都市景観形成につながる地域活動・イベント開催などの企画や行方

・その他、都市空間の創造、演出につながる企画や行方

・まちづくりなれにおいて、都市景観形成への配慮や努力がおこなわれた企業や行方

・景観意識の普及活動や都市景観形成につながる地域活動・イベント開催などの企画や行方

・その他、都市空間の創造、演出につながる企画や行方

・まちづくりなれにおいて、都市景観形成への配慮や努力がおこなわれた企業や行方

・景観意識の普及活動や都市景観形成につながる地域活動・イベント開催などの企画や行方

・その他、都市空間の創造、演出につながる企画や行方

・まちづくりなれにおいて、都市景観形成への配慮や努力がおこなわれた企業や行方

・景観意識の普及活動や都市景観形成につながる地域活動・イベント開催などの企画や行方

・その他、都市空間の創造、演出につながる企画や行方

表彰対象

一般表彰

●福岡市内にあるもので、次のいずれかにあてはまるもの

・福岡の歴史的、魅力的な景観づくりに役立っているもの

・自然環境や歴史的なまちなみと調和し、その雰囲気を高めているもの

〔文化財保護法により指定されたものや、すでに福岡市都市景観賞を受賞したものは除く〕

部門

●A部門(小さな建物) 店舗、幼稚園、病院など

●B部門(大きな建物や工作物) マンションなどの集合住宅、商業ビル、ホテル、橋、塔など

●C部門(まちなみ・空間) まちなみ、通り、通歩道、シロツギンギモール、

広場、公園、住宅団地、商店街、河川空間、

オープンスペースなど

●D部門(街角のアクセント) モニュメント、広告、サイン、

アーチ、電話ボックス、休憩所、街路灯、ベンチ、塀など

った。その結果この年は前年比350%増の376通の推薦があった。1995年度には561通とさらに増えて、景観賞への市民の関心が想像以上に高いことを思い知らされた。

今、景観賞を2本化し、奨励賞的な枠も設けてはどうかという意見もある。また、市民代表の審査委員を加えるとか、審査のプロセスを公表する方法の検討などもおこなわれている。次のステップアップとして、受賞者による景観スクールの開催など、積極的な展開も考えられる。福岡市都市景観賞は、年々発展してきている。決して保守的にならず、かといって批判に動揺したり軽言におもねらず、着実に成果を重ねていってほしい。■



天神カッパの泉 (中央区天神)